

総研 千葉共同利用施設の利用の手引

総合研究所千葉共同利用施設（旧先端工学研究所）は、広く学内外に設備・装置を提供する開かれた共同利用施設であるとともに、文部科学省等の研究プロジェクトを支援・推進している研究施設でもあります。本学教職員ならびに研究室に配属が決定している学生・研究員・研究生は、本共同利用施設に施設利用登録することで、本共同利用施設に設置された実験設備・装置の利用が可能になります。また学外研究者は本学の教員との共同研究申請を経て施設利用登録を行ってから、利用が可能となります（共同研究申請または倫理委員会への申請手続きについて、本学の教員と相談してください）。

1 施設利用登録

本共同利用施設は、本学千葉ニュータウンキャンパス7号館および11号館の一部にあり、各建物はカードキーにより入室管理がなされています。

・ 出入口

利用希望者（教職員・学生・研究員・研究生等）は、施設利用登録後、身分証をカードキーとして用いることで入館できる設定になっています。

・ 館内の各実験室

施設利用登録をすることにより、入室が可能となります。

1-1 施設利用登録方法

総合研究所千葉共同利用施設利用希望者（学外共同研究者含む）について、指導教員または共同研究者は施設のHPより「千葉共同利用施設 利用登録申請書」をダウンロードし、必要事項を記入の上、共同利用施設事務室にご提出ください。

1-2 カードキー入力手続き

提出された施設利用登録申請書の内容に基づき、共同利用施設事務室にて、カードキー入力手続きを行います。この手続きの完了後、身分証（学生証）により、入口ならびに希望する各実験室への入室が可能となります。

2 大型実験機器使用方法

2-1 大型実験機器使用方法

使用機器ごとに講習会を受け、それぞれの使用・運営方針及び安全対策を学びます。使用方法の詳細は講習会の資料また2-4 細則を参照して下さい。

注！講習会に参加したことがない場合、装置の使用は出来ません。

2-2 大型実験機器予約方法

本共同利用施設の大型実験機器の使用予約はネットにより行っています。大型機器管理責任者（王力群，以下，大型機器管理担当，または管理責任者，連絡先は2-4に参照）に連絡しアカウントを作成してもらう。

予約の結果はWeb上の予約ページに反映されます。特別な場合，管理責任者より連絡いたします。

注！施設利用登録が行われていない場合、機器利用予約は出来ません。

2-3 大型実験機器使用料金と請求方法

実験機器の利用には、MEG装置（故障中につき作動しておりません）・MRI装置共1時間あたり2,000円（学外者は4,000円）の使用料がかかります。但し学部授業の運営のために使用する場合は使用料を免除できる。

使用料は、毎月末日締で請求書を作成し、支払責任者宛お送りいたしますので、支払い手続きをお願いいたします。

2-4 大型実験機器使用に関するお問い合わせ先

大型機器管理責任者（王 力群，オウ）

e-mail: wang@mail.dendai.ac.jp または電話：(73) 8194

2-5 細則

- ① 利用時間は、本校の休曜日或いは祝日を除く、月～金曜日の午前(9:30～12:00)・午後(13:00～18:00)を原則とする。
- ② 年度の初めには、当施設の利用申請しなければならない。「1 施設利用登録」に従い、「施設利用申請書」を記入して提出する（担当：赤池）。並行して、倫理審査委員会に実験の倫理審査を申請する必要がある。尚、診療機関に該当しないため、臨床実験は医療専門家の立会いがない限り行ことが出来ない。
- ③ MRI のオペレーションは各研究グループで行う。当施設においてMRI装置のオペレーションを希望するものは、所定の講習を受け、操作実験技術を身につけ、操作手順を厳守する責任がある。MRIのオペレーションは登録された者以外の者が行うことを禁じる。
- ④ 採択された研究グループは実験日の一周間前まで、事前に貰ったアカウントでWeb申込・予約行う。実験日程を円滑に保つため、日程調整は担当者が行う場合がある。特殊の実験を行う場合、必ず事前に管理責任者と相談する。
- ⑤ データ提供者の雇用は各研究グループが行い、データ提供者に支払う謝金等は各研究グループが準備する。データ提供者に対する説明と同意（インフォームド・コンセント）。実験内容の説明と書面同意は各々の利用者が行う。倫理委員会の承諾は必要になる。
- ⑥ データ提供者の生命の安全および財産は各研究グループがこれを保障する。MRI 室は超高磁束密度であるから、ペースメーカーや脳動脈瘤クリップなど体内金属・ヘアピンなど体外の金属・精密機械・磁気カード人身事故または破損する恐れがある。MRI使用により生じた事故等に対して、当施設は一切の責任を負わない。安全に実験を行うためにも必ず使用方法を厳守してください。
- ⑦ データの転送・保存は各研究グループがこれを行う。DICOMサーバーからデータをコピーする場合、用意するUSBメモリー等の記録媒体からのウイルス感染の無いように防止策をとる。MRI 装置本体のHDD、またはDICOMサーバーに格納するデータも管理責任者がメンテナンスを行うため、削除される場合がある。
- ⑧ 各研究グループはMRI 室にある視・聴覚刺激提示用周辺設備を利用できるが、新規導入・設定変更してはならない。使用後は必ず現状に復帰する。また設備を破損などした場合は、速やかに管理責任者に報告し、利用者がこれを弁償する義務がある。

3 施設の概要

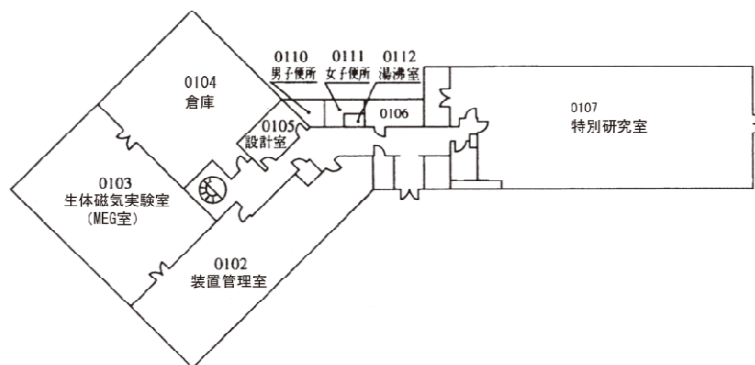
以下は、本共同利用施設で使用できる大型実験機器の一覧です。

共用設備・場所		概要
MRI	11号館 0108 (MRI室), 0107B (MRI操作室), 0105 (MRI実験解析室)	日立メディコ社製 (Echelon Vega) EPIコイルつき, 1.5T 全身MRIスキャナー スキャン同期視・聴覚刺激提示装置一式
MEG (故障中使用できない)	7号館 0103, 生体磁気実験室 (MEG室)	Neuromag社製 122チャネル全頭型脳磁界計測装置, 高性能磁気シールドルーム, 視覚刺激装置聴覚刺激装置体性感覚刺激装置
32ch. デジタル EEG	11号館 0103 (脳波生理室)	32ch. デジタルEEG ERPオンライン解析システム 同期視・聴覚刺激提示装置一式

4 館内案内図

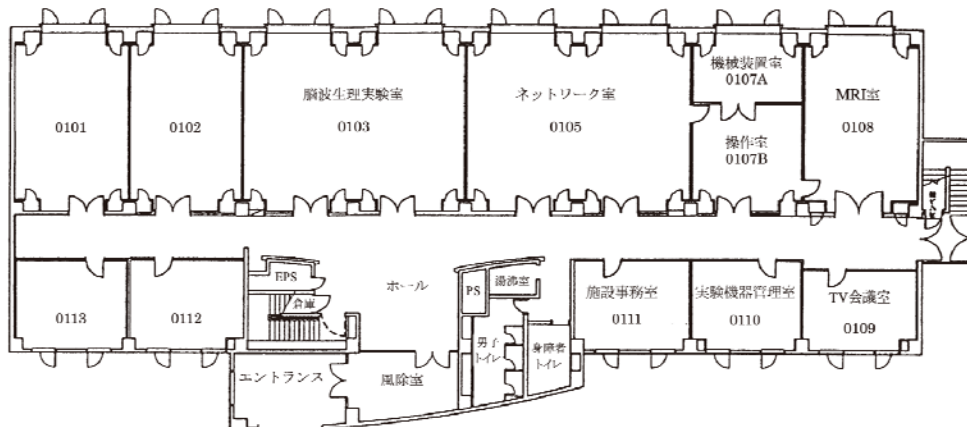
千葉ニュータウンキャンパス7号館

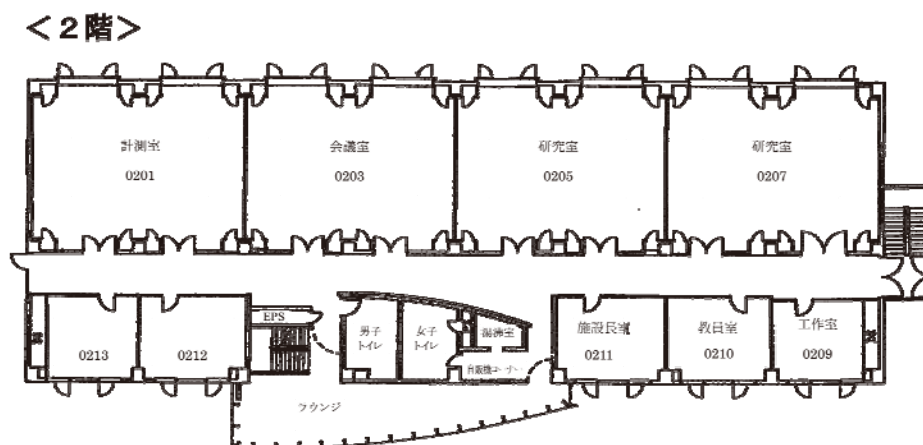
<1階>



千葉ニュータウンキャンパス11号館

<1階>





5 注意事項

- ① 研究活動に適した雰囲気づくりと安全確保のため、館内（MRI室を除く）では身分証を見えるように身につけてください。挨拶を励行してください。
- ② 安全第一、不明な点があった場合管理者に聞いてください。実験の必要上、周辺装置または照明・室内温度の調整が必要な場合は、大型機管理担当に御相談ください。MRIの操作技術身につけ、使用方法を厳守してください。
- ③ 円滑の実験環境保ち、使用者全員の協力が不可欠です。装置の不具合・不備を発見した場合は、必ず管理責任者にご報告ください（担当者不在時は、施設事務室に連絡してください）。
- ④ 安全上の理由から、休日・深夜等に施設内に一人で立ち入り実験等を行うことは出来ません。

6 千葉共同利用施設スタッフ

本共同利用施設にて業務を行っているスタッフは、以下のとおりです。

共同利用施設長	たかはし ときいちろう 高橋 時市郎（情報メディア学科 教授）
大型機器管理責任者	おう りきくん 王 力群（大型機器管理担当）
事務担当	ふかざわ たけひこ 深澤 武彦（研究推進部、総合研究所・共同利用施設担当） あかいけ こ 赤池 たけ子（千葉共同利用施設補助職員）

（平成28年4月現在）